

# 今日も「ー」あがり♪

第36話

心を込めて6年越しの恩返しを！の巻

皆さん、こんにちは！ 遅ればせながらイクラの美味しさに気づきました。ロボストス高垣でございます。いまこの瞬間も想像しただけでよだれが溢れ出ております。

さて、今月でこの連載も丸3年!! 続いていることが信じられません!! コラムで自分の仕事を晒すことが良いプレッシャーとなり、会社も自分自身も成長させていただいています。ロボストスが創業6年目を迎えた頃に連載のお話をいただいたのですが、皆さんにもこの3年の変化が伝わっているでしょうか? 今年最大の变化は、社内に旋盤・フライス盤・プレスブレーキ・溶接機・コンターマシン・3次元測定機などといったの部品を作る夢の試作工場を設備したこと。そして、社内がチームとして機能し始めたことも胸を張れる点です。業務を細分化して社内全員で日次・週次・月次の役割を分担し、経理処理から生産管理、備品管理までリアルタイムに処理で



写真1：無一文で創業したのに、気づけば工場ができていた。夢の工場と言いたい。現場の喜びを追求したらお金が後からついてきたんだ!

きるようになりました。対外的には、農家と直接コミュニケーションを図るようになったことが極めて重要な変化です。以前は従来の商流のなかで黒衣のように動いていましたが、「より現場の役に立つ仕事をしたからユーザーと直接お話しさせて欲しい」と揺るぎなく意思表示するようになりました。毎度の真剣勝負でメンタルが鍛えられたおかげでしょうか。引き続き、現場主義のまっとうな挑戦をお伝えできるよう努めます。ということ、今月は10月号に書いた6年越しの恩返し案件が仕上がったので、ご紹介しましょう!



写真2：T鳥さんお手製のネギ定植用カート。ホームセンターのアイテムを活かして器用につくっている!

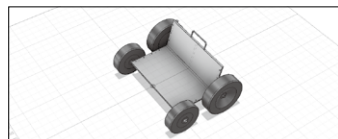


写真3：僕が描いたネギ収穫用カートの3D設計モデル。細部にこだわりのながら設計はシンプルに仕上げる



写真4：カートは改良により2.8kg軽量化し、重量は2/3になった

**鋼材の調達を越える**

いまでは関東平野の各地から受注するようになったネギ収穫機のカスタマイズに、最初に協力してくれたネギ農家のT鳥さん。長い間御礼ひとつできず心苦しく思っていた大切な恩人からの依頼は「自作したネギ定植用カートの幅を広くして、軽くできないかな?」でした。

現物をサクッと測ったところ、幅はぴったり450mmで、鉄の板厚は1.6mm。ピンとくるわけです。これはホームセンターで入手した鋼材だと。製造業界にはあらゆる種類の



高垣達郎 (たかがき・たつろう) 1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に株式会社ロボストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。株式会社ロボストス 代表取締役社長。

鋼材がありますが、皆さんも鋼材の仕入れで困った経験があるのではないのでしょうか。今回は軽量のアルミの板材を選択して、T鳥さんの要望どおりに50mm延長した500mm幅でレーザー加工。アルミの角棒を曲げてリブを作り、溶接します。タイヤは幅広のプラスチックタイヤに変えて、持ち運びやすいように取手もつけてみましょう。現在のカートに比べて2.8kg軽くなって完成!

T鳥さんに手渡して「使ってみて気になるところは120%満足してもらえらるまでとことん改良しますから!」と伝えて新しいカートに座ってもらったところ「俺にはこれで最高だ。大満足だよ」と満面の笑顔が返ってきました。何年も抱えてきた心のモヤモヤが晴れた瞬間でした。連載4年目も採算度外視で!! 手応えを感じられるモノづくりを続けてまいりましょう! ということで! 今月も一丁あがりく〜く〜!